

宮私幼PTAだより

第 87 号

発行者 連合会
行 T A 美
宮私幼 P 渥 集 員
長 (会) 編 集 員
広 報 委 員
事務局 青葉区国分町三丁目 6-12 佐正第二ビル 6F
電話 (022) 263-7040 番



会長 渥美 巖

スポーツを通じて
明るい宮城を創ろう

東日本大震災から間もなく五年になります。私も含め被災者はスポーツによって元気や笑顔をもらい、スポーツの力を改めて認識しているところでもあります。

「スポーツを通して活力と絆のあるみやぎを創ろう」宮城県スポーツ課のキャッチフレーズです。しかし昨年度の全国体力・運動能力調査で本県小学五年の男子は全国四十二位(前年度四十位)女子は三十七位(前年度三十三位)と全国下位の位置にあり、学力についても全国三十九位と低迷しております。

昨年の県スポーツ界を振り返ると仙台育英高校の甲子園準優勝、フィギュアスケート羽生結弦選手の国際大会等での異次元の演技での高得点での優勝は、県民に元気と大きな感動を与えてくれました。羽生選手には二年後の韓国平昌冬季オリンピックでも連続金メダルを獲得し、再度仙台でのパレードを再現してほしいものです。

宮城県内にはプロ野球の東北楽天

天、女子野球の東北レイア、サッカーのベガルタ仙台、バスケットの仙台 89 ERS のプロスポーツが本拠地を置いていたり、常にもスポーツに接する(観戦する)機会に恵まれているにも拘わらず、子ども達の体力が全国下位は残念です。合わせて、スポーツ少年団の加入団員も減少傾向にあり、大変心配しています。スポーツを通じて明るい宮城を創る為には、スポーツや運動が好きになることが第一であり、小学生からの運動習慣を身に付けさせることや、体力・運動能力の向上のため、肥満や虫歯といった健康課題対策の方向性も含め、学校・家庭・地域の連携と共に、市町村や宮城県として、子ども達のスポーツ振興対策を積極的に進めていく必要があります。

去る一月十二日、宮私幼連合会と共に、全国下位の私立幼稚園運営補助金全国順位を、改善するよう村井知事に要望しました。

村井知事の英断に期待しています。

長谷部誠先生

全日本サッカーキャプテン長谷部誠選手、サッカー好きの方ならワールドカップでの活躍を御覧になれていることでしょうか。

長谷部誠選手との出会いは東日本大震災により、私が園長を勤めているあさひ幼稚園が津波に流され、その再開に苦慮している時でした。被災した幼稚園に対する日本ユニセフ協会からの支援の話があり、そこで当園でも仮園舎の建設支援についてお願いした処、快くお引き受け下さいました。

多くの方々からの善意で出来た仮園舎、その中でも最大の功労者が長谷部選手でした。著書「心を整える」の印税、チャリティーバザーの売り上げ等、多額をユニセフに寄付し、それが幼稚園の建物として使われたのです。それだけではなく、震災後、公民館を借りて園を再開した時に、園児を励ますために来てくれました。それから毎年園児達の為に人形芝居、読み聞かせ等、「長谷部先生」として子



あさひ幼稚園(T)
小島 孝 尋

ども達に接し、楽しい一時を過ごしています。いつも大きな試合の後、疲れが溜まっているのに、そのような気配も見せずに子ども達と触れ合う姿を見ると本当に頭が下がる思いです。

彼の小学校時代の夢は、サッカー選手か保育士になりたいというものでした。今、プロサッカー選手として世界で闘い、そして幼稚園で子ども達と仲良く遊ぶ姿を見ると、夢を実現する為に努力し、それを叶えているのだな、という思いです。試合での激しい相手選手との競り合い、子ども達との笑顔での交流を見ると、真面目で優しく、いつでも真剣に物事に当たる、そんな彼の性格が見えます。

彼からの多大な寄付によって新しい園舎が出来、又「長谷部先生」として毎年子ども達との交流を欠かさず、震災前には何の縁もなかった両者が、この震災によって出会ったことが出来た事は、何とも不思議なご縁です。震災で幼稚園に通うのが不自由になってしまった子ども達の為に、お金だけでなく、毎年笑顔で、天気の良い日は外でサッカーや駆けっこ等園児に接してくれている姿は、優しいお兄さん先生のようなのです。

此の震災で、多くのスポーツ選手が被災地の子ども達を元気づける為に、色々な地域でそれぞれ活動しています。あさひ幼稚園で学



んだ子ども達にとつては、長谷部選手が「長谷部先生」として一緒に過ごした時間が一生の思い出として残ることでしょう。

お知らせ

平成二十八年度行事予定

平成二十八年年度
宮私幼PTA総会

期日 平成二十八年五月三十日(月)
会場 仙台市民会館小ホール

宮私幼教育振興大会並びに
PTA研修大会

期日 平成二十八年七月十五日(金)
会場 東京エレクトロンホール宮城

宮私幼PTA親善バレーボール大会
期日 平成二十八年十月十八日(火)
会場 グランディ21(利府町)

◇宮私幼PTA会費他
値上げについて

平成二十八年度より全日私幼PTAの会費が二〇円値上げになりますので、宮私幼PTA会費も二〇円値上げになります。

第四十回親善バレーボール大会を終えて



大野 純子

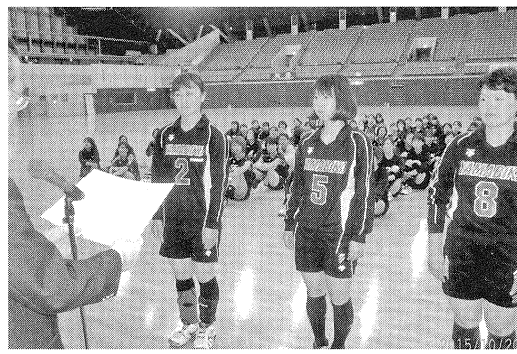
利府第二おおぞら幼稚園 (T)

十月二十一日、セキスイハイムスーパリアリーナにおいて、親善バレーボール大会が開催されました。宮私幼PTA連合会活動の大イベントであるこの大会も、今年で四十回を迎え、県内各地から六十五チーム参加の下、とても盛大な大会となりました。

幼稚園のバレーボールチームは毎年メンバーの入れ替わりがあり、その年ごとにチーム作りをしていくことはなかなか大変なことだと思います。人数が揃わずチームが作れない園もあると聞いています。日頃、仕事や家事、育児など

に追われ、忙しく過ごす中で練習時間を作ることもまた大変なことでしょう。

試合は、どのコートでも熱戦が繰り広げられました。白球を追う姿は真剣そのもので、練習の成果が十分に発揮されていました。会場に駆けつけたPTA会員の方々や幼稚園の先生方の応援も選手の方々に大きな力を与え、後押ししていたように思います。ミスをしていても声をかけ合い、ラリーが続いて点数に結びついた時にはみんなで喜び合う、普段園で顔を合わせる時には見られないお母さん方の姿は、とても輝いて見えました。平日開催で園児の応援はほとんどありませんでしたが、そんなお母さんの姿を見ればきつと、「お母さんってすごい」と、子ども達の目にも映ることでしょう。応援をしている私達も、元氣とパワーをもらった一日となりました。



いつもは試合の応援で会場に足を運んでいましたが、今回役員としてお手伝いをさせていただいたことで、たくさんの方々の協力をいただきながら大会が行われていることが分かりました。この大会はバレーボールを通してお母さん



同士の交流を深めるよい機会になっていきます。お母さんの笑顔が子ども達の笑顔にもつながるのだと感じた大会でした。今後もこの大会が長く続いていくことを願っています。

最後に、今大会の開催にあたりご尽力いただきました宮私幼連合会、並びに運営にご協力賜りました審判団、役員の皆様方に心より感謝申し上げます。

第四十回親善バレーボール大会 入賞チーム

ブロック	優勝チーム	準優勝チーム
A	やまびこ	ふくだまち
B	袋原	ふたばエンゼル
C	第二向陽台	汐見台
D	根白石	岩沼西こぼと
E	鶴が丘	福聚
F	みやぎ	双葉

結果の詳細は、宮私幼PTA HPをご覧ください。

宮城県知事への陳情

副会長 横澤 行夫

年明けた一月十二日午後、村井知事に対し、宮私幼の常任理事と共同で要望書を提出いたしました。当日の参加者は、渥美会長・中島副会長・横澤副会長・佐々木研修部長・小林広報部長・伊藤監事のほか、常任委員の佐々木幸士・渡辺勝幸・馬場牧子・菅原あゆ美・佐々木拓真の十一名、それに園児代表として佐々木晴空くん(富沢幼年長児)。宮私幼の村山理事長他五名、合わせて十八名が、出席しました。要望書の内容は、「平成二十八年度私立幼稚園に対する県補助金等引き上げに関する要望で幼稚園に対する補助金が全国四十二位というランクを宮城県に相応しい順位に改善してほしい」という要望でした。それに対し村井知事は、ランクについては十分に認識しており、県財政を見ながら、検討したいと述べました。知事と一緒に記念撮影をし、知事と別れ次に県議会の安部孝議長を訪問し同様の要望書を提出しました。議長は、宮私幼PTAの役員に県会



祝賀会報告

去る十二月二日、仙台ガーデンパレスにて、今年度宮私幼関係者で宮城県知事表彰を受賞された方お二人の祝賀会が開催されました。

◎教育文化功労 根来直昭先生
根来先生は、中学教諭だった昭和五十一年四月、地域の要望により高崎幼稚園を創立し、平成二年中学校教諭を退職後、園長・理事長として幼児教育に専念されました。幼稚園設立以来四十年、PTAバレーボール大会では、監督として何度も園を優勝に導きました。宮私幼連合会の理事や監事としても尽力され、この度受賞の栄誉を受けました。

◎県治功労 渥美 巖先生

渥美先生は平成七年宮城県議会議員当選以来二十年、副議長にも就任されました。矢本はなぶさ幼稚園PTA顧問として、石巻地区私幼PTA連合会の会長を務められ平成十年に宮私幼PTA副会長に就任、平成十七年に会長に選任され今日まで私立幼稚園のためご尽力いただいております。この度の受賞誠にめでとございました。お二人の先生方の益々のご活躍を祈念申し上げます。

(文責 横澤)

地区活動報告

平成二十七年年度

名取岩沼山元地区研修大会

キャラクター

巻き寿司教室

岩沼西こぼと幼稚園(T)

馬場 牧子



平成二十七年十一月十一日、岩沼市民会館にて宮城県

私立幼稚園PTA連合会名取岩沼山元地区研修会が行われました。

はじめに、当幼稚園のハンドベル部のお母様方に「愛の花輪」をハンドベルで演奏してもらいました。普段、CDで流れる愛の花輪とはまた違った音色で、大変好評でした。

研修は「キャラクター巻き寿司教室」です。この研修は①幼稚園児を持つ親同士の交流をはかる②子どもの喜びそうな可愛い巻き寿司の作り方を学ぶ事により、日頃の食卓やお弁当に彩りを添え、子どもとのコミュニケーションを広げる③講師の先生の「見た目だけではなく安全で美味しい物を」というコンセプトに基づき日々の家庭での「食育」につなげる。を目的に計画しました。講師は岩沼市



内の宅配寿司「宝島」の店長川久保寛樹さんです。川久保さんは飾り巻き寿司インストラクターの資格を取得していて、パリエーション豊かなお寿司を提供されています。今回は「カエル」と「雪だるま」を形取った初級者向けの巻き寿司に挑戦しました。材料などは川久保さんが全て手配して下さり、お寿司屋さんのシャリを使い、巻き寿司作りです。二人一組のペーパー作り作業を進めていきます。キャラクター巻き寿司は、いくつかのパーツを合わせて作っていきます。例えばカエルの巻き寿司だと目・口のパーツを作り、最後に全部を合わせて巻くと顔になって



いるという具合です。初めはうまく形になるのか緊張感も漂っていましたが、見通しが立つてくると喜びと感動の歓声に包まれました。参加された皆さんからも「和氣あいあいと他園のお母さん達ともおしゃべりしながら楽しく出来た」「うまくいかない物も笑いながら楽しく出来た」などの感想を頂き、和やかな雰囲気の中での楽しい研修会となりました。

私も家庭に戻れば子どもの食事作りを担う母親ですので、食育について学んだり、バランスのとれた献立を考えながら食事を作っています。この研修会を通して「楽しく作る」事が基本だと思いつ返しました。久しぶりにワクワクした気持ちで楽しく調理する事が出来ました。

平成二十七年年度

大崎栗原地区研修大会

輝く光

自分の歩幅でパレード

純心幼稚園(P)

大友 和博



平成二十七年十一月八日大崎市立古川第五小学校に於

いて大崎栗原地区私立幼稚園PTA連合会研修交流会が開催されました。

講師として、みちのくミュージックケア研究会の方をお迎えし親子ミュージックケアを行いました。

あいにくの雨模様寒い日で参加人数が減ってしまうのではと心配しましたが、受付開始早々たくさん元気な園児達の姿で会場がいっぱいになり約二〇〇名の方々に参加して頂きました。

ミュージックケアとはどのような事を行うのだろうかとみんな不安そうなお顔をしていますが、講師の方が気持ちよくワクワクする様な音楽をスタートさせ、親子で向かい合っって音楽に合わせて手を叩きあつたりしチョップピリ緊張していた子ども達の顔も一気に笑顔に変わり寒かった会場内も笑いと熱気に包まれました。

音楽が次々と変わり、次は新聞紙を曲に合わせながら手で線の様にちぎりそれを拾い集め、今度は



それをポンポンの様に手に持ち周囲が可愛いチアリーダーに変身し、目をキラキラさせながら踊っていました。次は、いろいろな園のお友達と手を繋ぎ体育館いっぱいになり丸くなり鳴子を手に持ち「よさこい」の始まりです。次々に変わる音楽に子ども達の気分も最高潮、踊りや楽器遊びを楽しみ他園のお友達ともすっかり仲良しになっていました。楽しい交流会もあつと言う間に過ぎ、最後は会場内でしゃぼん玉が飛び交いピアノの音楽が流れる幻想的な空間の中で興奮した気持ちを落ち着かせ無事に終了する事が出来ました。交流会での園児達の目は、まさに輝く光の様にキラキラしてこの気持ちを忘れずに自分の歩幅ですくすくと成長していつてもらいたいと思っていました。研修会開催にあたってご尽力頂いた皆様に、この場をお借りして深く感謝を申し上げます。

会員のひろば

やっぱり笑顔がいちばん

浄心幼稚園 (P)

高橋 嘉尚



二人の娘がいます。上の子は東日本大震災の年に浄心幼稚園へ入園しました。電気は復旧しましたが、水は出ないし放射線の問題など不安だらけの中、入園式をした事を今でもはつきりと覚えてます。でも、そんな時に先生方は、笑顔で子ども達を迎え入れてくれ、そして、「幼稚園に来たら、子ども達は、責任をもって守ります。」とおっしゃってくれた事が私達親にはとても心強い言葉でした。毎日、ニコニコと登園する娘を見て私も安心する事ができました。

下の子が入園する時に、本部役員のお仕事をさせて頂く様になり運動会や夕涼み会などのイベントに、いつもとはちがう視点からお手伝いをする様になり、先生方の頑張りや、子ども達の笑い声、キラキラした目を近くで見ることが出来とても良い経験をさせて頂きました。下の子もあとわずかです卒園となり、少し寂しい気持ちもありますが、残りの時間を、先生や友達と楽しく、笑顔で元氣いっぱい過ごしてあげたいと思います。やっぱり笑顔がいちばん。

苦手を自信に

九条幼稚園 (P)

菅原 綾子



先日の参観日で驚く事がありました。人一倍恥ずかし

がり屋で、ゆるキャラを見ただけで固まってしまつた次男が、教室の前で一人で立ち、堂々とした態度で歌を披露したのです。「すごい！カッコよかった！」と一緒に喜びました。その日から、次男は歌うのを「はずかしいから」と断ることがなくなりました。むしろ得意になつて歌つてくれるようになりました。「ぼくね、小学校に行くときにうたいながらいくんだ。たのしいもん」『苦手を克服』褒める『自信』になつた瞬間でした。

次男は、人の行動をよく見ていて、ある程度出来るので、いつの間にか褒める事をあまりしていなかったように思います。赤ちゃんの頃は、「立った！」「しゃべった！」と事あるごとに、大喜びしていたのに、今では心では思っていないでも、言葉にして伝えていなかったなあと反省し、褒める事の大切さを改めて実感しました。もうすぐ卒園です。在園三年間で体も心も大きく成長出来たのは、苦手な事を挑戦する気持ちにして下さった先生方やお友達のおかげです。ありがとうございました。

バレーボールを通して得たもの

成田中央幼稚園 (P)

早坂 あゆ美



平成二十七年十月利府のグラウンドに於いて、「第四十回宮私

幼親善バレーボール大会」が開催されました。私自身、本部の役員として大会のお手伝いをさせて頂き、また、一選手として参加しました。大会当日の朝、年長児の息子の小学生の娘たちから「今日が最後の大会でしょ。絶対、優勝してね。」子どもたちからの思いがけない言葉に涙がじんわり。残念ながら優勝には及ばない結果でしたが、仲間たちと一つ一つのプレーに喜一憂できたこと、一生忘れることのできなない思い出となりました。思えば病弱だった娘たち。入退院を繰り返す日々が落ち着き始めた次女が年長児の頃、園バレーを始めました。スポーツをする時間が増えてきたこと、素敵な仲間に出会えたこと、夢のようでした。仲間を支えてもらった五年間があり、今では娘たちもスポ少でバレーボールをしています。体力・精神的にも成長し、汗と涙を流し頑張っています。バレーボールを通して得たもの。それは、かけながえのない仲間、頑張る気持ち、子どもたちの成長。他には代えがたい大切なものです。これからも、子どもたちに自分の姿から何かを学んでもらえるように、日々、邁進していきたいと思ひます。

PTA本部の役員活動を通してしげる幼稚園 (P)

高橋 左紀子



私は役員活動というものが好きでない。できればなく

なつて欲しいと思つている。お金をもらえるわけでもなく、見ず知らずの人と一緒に一年間さまざまな活動に取り組まなければならないのだ。PTA行事なども苦手で、子どもが関わらないものにはなるべく参加したくないタイプだ。こんな私が今年度はPTA副会長という大役を勤めることになつた。幼稚園で行われる全てのPTA行事に参加するだけでなく、運営する側にも回るのだ。「本部」という響きが嫌で断りたい気もしたが、親しい人に頼まれたこともあり、一年の辛抱と思ひ引き受けた。一年間活動してみても、意外なことに楽しかった。メンバーに恵まれた。会長さんは天然でユニークな方で会う度に笑わせてもらった。今年度は七年に一度の宮私幼・仙私幼の役員当番の年で例年以上に仕事が多かつたと思う。しかし大変そうなる素振りは見せず明るく前向きに一年間リードしてくれた。会長だけでなく他の方々も個性的で優しくて子どもや園のことを一生懸命考えている方ばかり。良い仲間と活動でき幸せな一年だった。

あ と が き

大寒の冬に耐えて、今年も桜の咲く季節がやってまいります。卒園を迎えるご家庭では、少しの不安と大きな期待に心を弾ませていくことでしょうか。我が家もこの三月に次男が卒園致します。長男と合わせて五年間の幼稚園で、私は三度PTA役員をやり、今年度はPTA副会長をやらせて頂きました。引つ込み思案な性格の息子達に「何でも挑戦してみる」ということを、言葉だけでなく行動で振る舞いで教えたいと奮闘した一年でした。支えて下さつた先生方、お母様方、そして家族に感謝です。

おかげさまで宮私幼PTAだより第八十七号をお届けすることになりました。ご寄稿頂きました皆様に心より御礼申し上げます。最後は会員の皆様のPTA活動への協力に感謝し、あとがきと致します。(広報部長 小林雅子)

平成二十七年年度編集委員

- 副会長 稲富 将夫(夫本はなぶさ)
- 副会長 横澤 行夫(お人形社)
- 広報部長 小林 雅子(しげる)
- 広報副部長 佐々木拓真(マルウェア)
- 広報委員 高橋左紀子(しげる)
- 広報委員 高橋亜衣子(浄心)
- 広報委員 我妻 昭子(浄心)
- 広報委員 佐々木 真(あさひ)
- 広報委員 小島 孝尋(あさひ)
- 広報委員 トレーニング(万石浦)